

平成26年度第5回看護研究倫理委員会議事要旨

日 時 平成26年9月8日(月) 16時15分～18時00分
場 所 看護学科棟1階 学科長室
出席者 内田委員長、橋本委員、津本委員、岩田委員、三原委員、太田委員、
加藤委員、飯塚委員
委員以外の出席者 申請者(藤原院生、田口院生、大森講師)

- 本委員会は、本学医学部看護研究倫理委員会規則第5条の規定に基づく3分の2以上の出席を得て成立した。
- 平成26年6月開催の平成26年度第4回看護研究倫理委員会議事要旨を了承した。

議事

1. 看護研究申請書の審査について

(1) 課題名：糖尿病を合併している母親が母乳育児を継続できた理由

・・・・・・・・資料1

内田委員長から、資料1のとおり藤原院生より申請があったので審議願いたい旨の説明があった。

続いて申請者の藤原院生から研究の概要等についての説明、及び各委員から質疑等があった。

引き続いて審議の結果、委員会で指摘のあった事項について検討した上で再提出し、委員長が確認した上で、本件申請について承認することとした。

なお、申請書の訂正を確認後、改めて審査することとした。

(2) 課題名：認知症を有する高齢慢性心不全患者の家族が捉える心不全増悪徴候

・・・・・・・・資料2

内田委員長から、資料2のとおり田口院生より申請があったので審議願いたい旨の説明があった。

続いて申請者の田口院生から研究の概要等についての説明、及び各委員から質疑等があった。

引き続いて審議の結果、委員会で指摘のあった事項について修正することとし、本件申請について承認することとした。

(3) 課題名：精神障がいをもつ人の園芸活動を介したグループにおける相互交流の意味

・・・・・・・・資料3

内田委員長から、資料3のとおり大森講師より申請があったので審議願いたい旨の説明があった。

続いて申請者の大森講師から研究の概要等についての説明、及び各委員から質疑等があった。

引き続いて審議の結果、委員会で指摘のあった事項について修正することとし、本件申請について承認することとした。

2. 報告事項

○迅速審査結果について

・・・・・・・・資料4

申請者：地域・老年看護学 講師 沖中 由美

課題名：在宅療養・介護における高齢者のQOLを支える在宅ケアモデルの構築に関する研究－独居高齢者に対する質問紙調査－

当初承認日：平成26年7月14日

審査結果：研究計画の軽微な変更であり、迅速審査承認。

○審査結果について

(1) 申請者：大学院医学系研究科看護学専攻 学生 坂根 可奈子

課題名：外来化学療法を受けるがん患者が生活の中で大切にしていることを支える看護プロセス

審査結果：承認（平成26年7月14日付）

(2) 申請者：基礎看護学 講師 福岡 美紀

課題名：看護師が行うがん化学療法関連業務の実態と認識に関する研究

審査結果：承認（平成26年7月14日付）

(3) 申請者：臨床看護学 助教 吉野 拓未

課題名：シネメデュケーションによる遷延性意識障害患者とその看護に関する看護学生理解

審査結果：承認（平成26年7月14日付）

(4) 申請者：地域・老年看護学 准教授 小笹 美子

課題名：こども虐待ボーダーライン事例に対する保健師等の支援実践－ネグレクト事例に対する支援－

審査結果：承認（平成26年7月14日付）

(5) 申請者：地域・老年看護学 講師 沖中 由美

課題名：在宅療養・介護における高齢者のQOLを支える在宅ケアモデルの構築に関する研究－独居高齢者に対する質問紙調査－

審査結果：承認（平成26年7月14日付）

(6) 申請者：看護部 看護師 井上 智恵

課題名：同種造血幹細胞移植を受けた患者が無菌室入室中に看護師のケアによって満たされた経験

審査結果：承認（平成26年7月14日付）

3. その他

- 次回の看護研究倫理委員会について、平成26年10月20日（月）16時15分から開催することとした。